

指定管理業務 事業評価書

平成29年度 指定管理者業務 事業評価表

施設名	那須烏山市立南那須図書館・烏山図書館
施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	大高商事・大新東ヒューマンサービス・藤井産業共同体 代表者 株式会社 大高商事 代表取締役 高橋 和夫
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日 (5年間)

確認項目	評価基準	自己評価	所管評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務		A	B
(1)職員配置	適切な人員配置がされたか	A	B
(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	B
(3)利用促進業務	利用拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	B
2 利用者に関する業務		A	A
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	A
(2)利用料金	利用料金の設定・徴収・手続きは適切であるか	A	A
3 保守点検業務		A	B
(1)保守点検業務	保守点検が適切に行われたか	A	B
(2)清掃業務・維持管理業務	清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	B
(3)保安・警備業務	保安・警備業務が適切に行われたか	A	B
(4)修繕業務	修繕業務が適切に行われたか	A	B
4事業の実施に関する業務		A	A
(1)指定業務	事業が適切に行われたか	A	B
(2)自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
(3)事業報告	報告の提出は、期日が守られているか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱が適正に行われたか	A	B
6 設置目的の達成度(管理目標)	設定目標に対する結果は妥当であるか	A	A
II サービスの質の評価		A	B
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	B
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	B
3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	B
4 指定・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	B
III サービスの安定性の評価		A	B
1 事業収支	事業収支は妥当であるか	A	B
2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	A	B
3 団体等の経営状況	団体の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	A	B
総合評価		A	B
その他特記事項(成果・改善等)			
1 指定管理者	指定管理2期目の1年目なので、初心に返り仕事を全うした。指定管理1期目と変わりなく、図書館運営、継続事業の実施、自主事業の実施等行った。烏山図書館においては、入館者・貸出冊数ともに増加した。		
2 施設所管課	広報広聴箱などに苦情が寄せられる案件が見受けられる。原因や経過、対応等の事実を把握し、図書館職員内で客観的に共通認識が図れるよう対応願う。		
総合評価の理由	指定管理者制度導入から2期目を迎え、貸出利用者数・貸出冊数は前年度比微減(約1%減)だが、入館者数は99,940人から105,693人と9.5%増となっている。様々な理由もあるが、自主事業の開催等図書館の企業努力も大きな理由と思われる。社会教育の場だけでなく、市民の交流の場としての図書館としての点は大きく評価できる。総合的に判断してBと評価した。		

※ 施設の特性等に応じて確認項目を追加・修正して使用すること。